

佳作

がんばったんと

福島県 会津坂下町立坂下東小学校一年 佐藤 要太

ぼくは、かおにみずが、かかったりするのがいやでした。だから、がっこうのぶうるにはいるのは、ちよつといやでした。おともだちとちいさいぶうるであそぶのはすきだけど、もぐったりするのはきらいでした。でも、いちねんせいになったから、おにいちゃんみたいに、およげるようになりたいなどおもいました。おうちのおふるで、かおをつけたり、しゃわあをあたまからかけてもらったりしています。がっこうでぶうるにはいるひは、いやだなあとおもいます。

なつやすみになりました。ぼくはおかあさんにつれられて、まちのすいえいきょうしつにいきました。いちねんせいのおともだちがいっぱいいました。ぶうるが、おおきいぶうるでした。さいしょにみんなおなまえをよばれてへんじをしました。そしてじゅ

んびたいそうをしました。つぎに、はんにわかれました。ぼくはいちばんおよげないはんでした。おおきいぶうるにあしをいれて、ばたばたしました。みんなでてをつないで、もぐったりもしました。おおきいぶうるでどきどきしました。ぶうるのせんせいもやさしくおしえてくれました。あしをまげないで、ばたばたするのがむずかかったです。おともだちもがんばっていたので、ぼくもがんばりました。

三かじめにいったときに、ぼくはひとつうえのはんになれました。こんどは、びいとばんをつかいました。ぶうるはぼくたちがたつところにだいがありません。だからぼくがたつともしずみません。びいとばんでぶうるのはんぶんくらいばたばたとばたあしおよぎをしました。なんかいもしました。ぼくは、ぶうるがたのしくなりました。おかあさんにも、「じょうずになったね。」

と、ほめられました。すいえいきょうしつには五かいきました。さいごのひはですとがありました。びいとばんでばたあしでどこまでおよげるかのてすです。ぼくはがんばるぞとおもいました。ぼくのばんになりました。どきどきしました。ぼくはいっしょうけんめいあしをうごかしました。かおにみず

が、かかってきても、もうだいじょうぶです。ぼくは二十五めえとるおよげました。つかれました。ぶるのせんせいも

「がんばれ。」

とおうえんしてくれました。かえりにしょうじょうをもらいました。おうちにかえってみんなにみせました。ぼくはぶうるが、すきになりました。